



# コミュニティ しずおか

2023  
**10**月  
No.172



昨年のまつりの1コマ

## かぐや姫伝説 心豊かな文化のまちづくり

吉永まちづくり協議会 姫名の里委員会(富士市)

▼富士市の吉永地区では、毎年中秋の名月の頃に地区の一大イベント「姫名の里まつり」が開催される。今年で33回目を迎えたかぐや姫にちなんだお祭りで、伝統芸能を継承・発展させ、心豊かな文化のまちづくりを進めることを目的に、地区の団体が協力して取り組むことで住民の繋がりを深めている。

令和4年度からは、会場を古くから姫名郷と呼ばれていた竹採公園から比奈公園に移し新しい催しを加えたことで、地区内外から多くの来場者が訪れている。

◇代表：高橋正文さん（問合せ・0545-34-1014（吉永まちづくりセンター））

【情報提供・齋藤立己】

## Topics トピックス

- クローズアップ ..... P2  
10年・20年先も住みたい青木平を考える(富士宮市)
- ようこそコミュニティ ..... P6  
耳から入る昔話の力に驚き(伊豆の国市)



ミニック  
のじぎょ・りえ



創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。



左上：1回220円ゴミ収集事業 右上：子どもとあそび日カレー作り 右下：秘密のマスコットづくり有志の皆さん  
左下：どんどこ焼きに出すチョコバナナの試作に奮闘するHP編集委員 中下：夏休みラジオ体操の1コマ 中央：秘密のマスコット

## 10年・20年先も住みたい青木平を考える

富士宮市

青木平区自治会

入道雲が沸き立つ真夏のある日、富士宮駅からバスに揺られること25分。富士山麓を一望できる緑豊かな青木平区にやってきました。約40年前に宅地造成され別荘も点在するおしゃれな住宅街。2町内10班(約257世帯)で構成される青木平区自治会の武井区長、濱田副区長、ホームページ編集委員の森さん、勝又さんに、お話を伺いました。

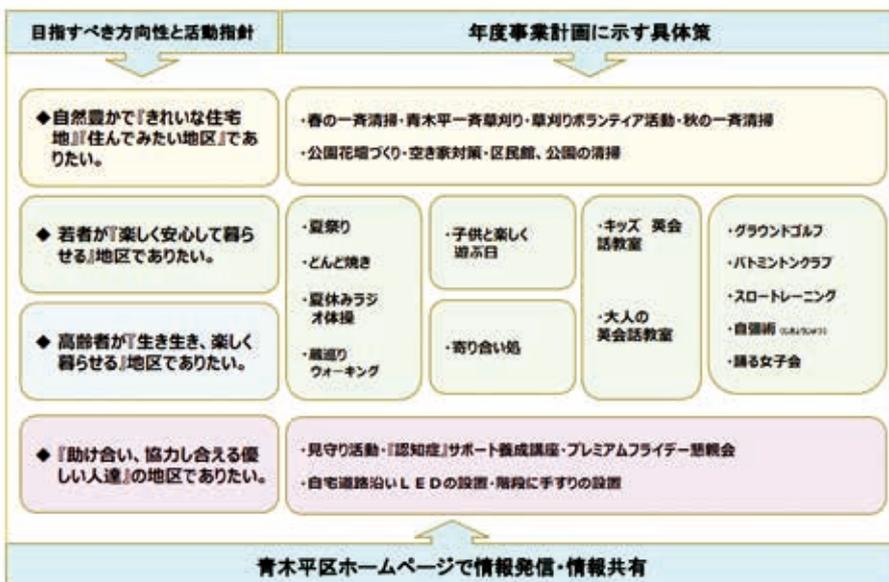
### 住みやすくするために、自治会は動いている

2016年に区長になり「20年後この地区はどうなるのだろう…」と考えた武井さん。まず、青木平区の将来人口に着目し、人口減少や高齢人口の推移を可視化して区民との勉強会を重ねる中で、『きれいな住宅地』、『安心して、生き生き楽しく暮らせる地区』、『助け合い、協力し合える優しい人達』など青木平区の将来ビジョンをまとめ、その実現に向けて自治会は精力的に動いています。

### 自治会ホームページ運営の効果

2018年に開設したHPは、6年目で12万アクセスを記録。自治会の各種規約、サークル登録申請、班長の引継ぎ書は勿論、区内のお店や子ども園、空き家の情報、美しい青木平の写真も掲載。いい意味で自治会のHPっぽくありませんが、開設後37世帯が転入し、空き家待ちの方もいるとか。2年前移住してきた勝又さんは声をかけられ編集委員に就任。「自分のお店をの宣伝をきっかけに参加したところ、地区の

# 青木平区の将来ビジョンの実現に向けて



ことをもっと知りたいと思うようになった」と話します。

このHP編集委員会からは新しいアイデアが次々と生まれ、自治会活動に活かされています。「青木平自治会の非公認の企画部隊なんです」と皆さん笑います。

## 変化を恐れず柔軟に対応

昨年の夏祭りは感染症対策、熱中症対策が間に合わず、3年連続の中止になり、濱田副区長も交流の希薄化に危機感を持ちます。そんな中、知り合いから出張商店街を紹介され、試しに「出張商店街 in 青木平」を開催すると大盛況。これまで夏祭りは区内各班からの出店がメインで、設営から撤収まで班員の負担が課題でした。出張商店街は店側の自主運営で自治会の負担が軽いことも決め手となり、令和5年度は夏祭りを秋祭りへ、各班の出店を外部出店依頼へと大胆に変更しました。

10月22日(日)に開催する秋祭りでは、森さんの発案で来場者へ「秘密のマスコット」をプレゼントします。青木平は様々な野鳥の宝庫。青木平の象徴でもある秘密のマスコットに「来てくれてありがとう」という感謝を込め、来場者全員にプレゼントできるよう区民有志の皆さんで準備が進んでいます。

## ボランティアの高齢化を見据えた仕組みづくりを考える

坂の多い造成地にゴミ収集ステーションは3か所。このため5月より週1回(220円)の戸別ゴミ収集事業開始。独居高齢者が増加する中、長期的に安定したサービスを維持するには仕組みづくりが大切と考え、市の福祉企画課の協力のもと、シルバー人材センターと連携した有料サービスとして試験運用を始めました。ボランティアの方をシルバーに登録し、収集作業はシルバーに委託。自治会は申込者の登録と集金を担っています。

現在、10世帯が利用中。2週間ゴミ出しがなければ、シルバーから自治会に連絡が入り、高齢者の「見守り」の役割も担っています

## 今後の課題

自治会としては、行事ごと状況に応じてやり方を

工夫していますが、住民の反応をつかみきれていないところがあるそうです。昨年のまちづくり勉強会への参加率が3割程度で、特に現役世代の参加が少ないそうですが「強制はできないので地道にやるしかない」と武井区長。まちづくりの将来ビジョンを住民が自分事ととらえて協力してもらえるよう、青木平区自治会の奮闘は続きます。

## インタビューを終えて

自治会活動は輪番制が多く前例踏襲して終わることも珍しくない中、青木平区は、区長、副区長が長年の核となっているからこそ、状況に合わせて活動内容を変更していく柔軟さに長け、時代と共に進化している自治会と思いました。「10年、20年先のことを考えてやっている」その力強い言葉は、青木平区の大きな魅力の1つだと思いました。本当に住みたくなくなって、楽しいお話をありがとうございました。



青木平区HP

左上から濱田さん、武井さん 左下から森さん、勝又さん

◇区長:武井信夫さん(問合せ・090-7699-3563)

レポート:矢野さちこ 編集委員

下田市

## 陶芸体験で交流人口を増やす

しず草窯



体験に訪れた下田中学校の生徒

▼下田市の蓮台寺駅から車で約15分、車1台が通れる山道に登ったところにある山間の集落下大沢地区(30世帯68人)に、陶芸の工房「しず草窯」がある。46年前、増田さんご夫婦が下大沢に移住してひらいた窯で、平成5年から観光客や市内の学校の陶芸体験を受け入れている。

▼本年度から、中学校で「下田の職人さんから学ぶモノ作り体験」が始まり、6月に下田中学校の生徒10人が下大沢を訪れた。「下田を変える」のテーマを持って陶芸体験。高齢集落に子どもたちが訪れた。「若い人との交流はとても楽しい」と様子を見に来た近所の山田さんと土屋さん。

▼この陶芸体験があることで、訪れるはずもない小さな集落に観光客や中高生が訪れ、下大沢を知る機会になっている。年間を通じて地区外からお客さんが訪れ、寂しい田舎に賑わいをもたらしている。

陶芸体験しながら、下大沢の澄みきった空気を味わいに来てみませんか。  
◇代表:増田 晶さん(問合せ・0558-23-3291)【情報提供・山田豊秋】

静岡市

## 地域の歴史文化を学び伝える

あさばたそんじほく  
麻機村塾

▼県立こども病院の向かいにある「あさはた緑地公園」は、水と緑に恵まれた遊水池公園。植物観察や昆虫採集、農業体験等、魅力いっぱいの場所である。この公園を拠点に活動する「麻機村塾」は、地域の歴史や文化等を地域の皆さんと一緒に学び、後世に伝えていきたいと平成8年に地元の有志で発足した団体。現在、歴史講座や歴史散歩、地元からお預かりした農機具・古民具の展示・公開、古い農具を使っでの親子稲作体験等を中心に活動している。

▼7月に開催された歴史講座は、「年表から麻機を考える」。古代から江戸・明治時代まで、どんな出来事が麻機にあったのか、お手製の年表と史跡マップを紐解いたロマンあふれる塾長のお話に、20人の参加者が聞き入った。帰りがけに次回の講座を申し込む参加者もいた。

▼公園指定管理者と連携した事業を進めることで、麻機の歴史文化を知るきっかけとなり、活動に賛同してくれる皆さんが増えることを塾長は願っている。

◇塾長:石上恭平さん(問合せ・080-4218-2579) 【情報提供・瀧 昌光】



毎月第1、3日曜日に農具等を公開

島田市

## 健康体操で中・高年のパワーアップ

東川根上健康体操  
ふれあいクラブ



ひと汗かいて良い笑顔

▼昨年11月、梅の里で知られる島田市伊太地区(73世帯)で、健康維持と明るく張りのある毎日が送れることを目指し、健康体操を行う団体が発足した。会員15人(男性2人、女性13人)、いつも元気で笑い声が絶えない女性主導のクラブである。

▼東川根上公会堂で、毎週金曜日の9時30分から1時間、「しまだ市っ歌りげんき体操」と「しぞ〜かでん伝体操」を実施。自由参加なので、平均11人程度が参加。因みに最高齢は90才で、歩いて会場へ来るそうだ。

▼「高齢者が多い地域です。みんなが集まれば、会話が弾みます。わずかな時間でも気を晴らしに来てほしい」と藁科代表。無理なく、気兼ねなく分け隔てなく、をモットーに和気あいあいの雰囲気健康づくりと外へ出て、人と会話す機会づくりに心がけている。

「来るもの拒まず和気あいあい」ご近所の方、先ずは試しに1回参加してみませんか?

◇代表:藁科静子さん(問合せ・0547-35-0575)【情報提供・池田 弘】



磐田市

## 於保地域で「オホホッ」と笑顔の交流

於保西南  
はつらつサロン



小学生を誘ってお抹茶体験

▼於保西南はつらつサロンは、平成27年に元民生委員の鈴木代表が、高齢者の引きこもりや認知症の予防のために、住民同士の交流の場を作りたいとの思いで始まった。会場の福田健康福祉会館近くの5つの自治会の高齢者11人が参加している。

▼毎月季節に合ったイベント開催。更にそのイベントに継続的に参加できるように、毎月5日は運動の日と定め、月2回開催している。「地域の子どもたちと交流したい」との思いから子ども会へ打診。本年度から年に3回交流が始まり、5月のお抹茶教室では小学生が立てたお抹茶を高齢者がいただいた。地域の高齢者と交わる機会の少ない子どもたちにとっても良い体験である。

▼「この活動が無ければ、他の地区の方と知り合うことはなかった。これも活動の成果の一つです」と鈴木代表。スタッフは各自治会の福祉委員や民生委員、民生委員OBなど14人。参加者とスタッフが一緒になって笑い、はつらつと楽しいひと時を過ごしている。

◇代表：鈴木昭代さん(問合せ・0538-55-2582)

【情報提供・安部詠司】

森町

## 本は楽しいよー!

おはなしぐらんこ

▼今年35年目を迎える読み聞かせ団体「おはなしぐらんこ」は、心を込めて本を読むことで、子どもとお話の世界を繋ぎ、読書の楽しさや喜びを伝え、言葉の発達や生きる力を育むことを目的に活動している。

▼活動は月3～5回。児童館や図書館での幼児や小学生への絵本、紙芝居等の定期的な活動の他、季節行事等にも参加している。特徴的なのは、平成15年から県立遠江総合高校の依頼で、朝読書の10分間に各クラスで読み聞かせを行っていること。「高校生にどんな絵本を?」という戸惑いもあったが、真剣に聞く姿に私たちも選書を楽しんでいる。

▼「目をキラキラさせ反応する姿は、私たちの喜びであり元気をもらおう」と村松代表。「子どもと絵本が好き」で集まった会員は、現在12人(男1人、女11人)。活動の幅を広げるために人材の確保が課題でもある。

目的達成のため、「選書」「方法」の研修や意見交換、情報収集にこれからも積極的に努め、楽しみながら輪を広げていく。

◇代表：村松真砂子さん(問合せ・0538-48-7376) 【情報提供・山田勝恵】



お話しの世界にひきこまれてゆく子どもたち

## 地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます(アドレス <http://www.sizcom.jp>)



No.		No.	
1	 <p>沼津市</p> <p>活動名 第一地区 納涼祭での七夕飾り</p> <p>主催者 沼津市第一コミカレ</p> <p>趣旨・目的 地域のコミュニティの活性化に貢献</p> <p>情報提供 白井隆司</p>	2	 <p>御殿場市</p> <p>活動名 竈区「もちやまの里」に生息する野鳥観測</p> <p>主催者 日本野鳥の会 東富士支部</p> <p>趣旨・目的 野鳥を通して自然に親しみ自然を守る運動。自然と人間が共存する豊かな地球環境の創造。</p> <p>情報提供 勝又長生</p>

# ようこそ コミュニティ

発足間もない団体を紹介します。



20代の方も参加している講座。第8回目は10/21に開催します



函南町図書館にて町に伝わる話を聞く会



左から山田さん、鈴木代表、長内さん

## 耳から入る昔話の力に驚き

### 伊豆昔語りの会 (伊豆の国市)

昔話には、それぞれの土地に言い伝えられた意味があり、昔の人々の知恵が詰まっています。脈々と語られてきた貴重な財産を掘り起こし後世に伝承し、人々の共有財産として活かしていくことを目的に、今年3月に発足した「伊豆昔語りの会」。私自身これまでにあまり昔話に縁がなく過ごしてきましたが、耳のみで聞くことは「聞き手一人一人が物語のイメージを膨らませ、考える力が磨かれる」という語りの持つ「力」に「なるほど」と感銘を受けました。

#### 会を立ち上げた経緯は

伊豆の国市は、昔話の継承に熱心な土地柄で「伊豆の国の昔話をまとめる会」がありました。14年近い活動の中で、100話近くの語りを収集しましたが、会員の高齢化などで昨年10月に活動の終止符を打ちます。しかし「伝承活動が終わるのはもったいない」と思っていた元会員の方や20代の頃から昔話の収集と研究を続け、伝承者の減少に危機感を持っていた鈴木代表が、語りを聞く機会と語り部を増やす活動を始めました。

#### 具体的な会の活動は

毎月第3土曜日に大仁くぬぎ会館での講座の他、市内の高齢者サロンや函南町立図書館での出張語り等の活動が行われています。講座は、参加者が話を聞くだけでなく奥深さを知って、将来語り部として活躍してもらいたいとの思いで開講。昔話の生まれた背景や伝承の経過を勉強する「昔話の教室」と、昔話を直接耳から聞いて感想を述べあい昔話に親しむ「昔話の語り」の2部からなり、毎回20数名近くの方が集まります。

現在、正会員は18人で伊豆地域は勿論、東京や福島の方の会員もあり、遠隔地や欠席者にはYoutube限定動画で配

信し、気軽に受講してもらえるよう講座の単発参加者も受け入れをしているそうです。

#### 今後の展開は

「未来へつなぐ子どもたちに昔話を伝える取り組みを広げたい」「遠野市のように、昔話を観光に繋げ、地域活性化の一助にしたい」とも考えているそうです。

「幼い時に聞いた昔話は一生心に残るので、各家庭で子や孫に話をする人が増えていくと嬉しい」と鈴木代表。「子どもたちに故郷の良さを分かってもらいたい」と山田さん。「語りは文学の原点である」と長内さん。お三方の昔話の伝承に掛ける熱い思いをお聞きし、これからの「伊豆昔語りの会」の発展は前途洋々たるものだと感じました。

#### 最後に

取材が終わろうとした時「お話を一つ聞いていかない？」と鈴木代表が語ってくれたのは「十五夜の団子」という1分半に満たない昔話。しかし内容は人間の身勝手な弱い心を戒めた意味深いものとして私には受け止められました。聞いているだけで情景が浮かび昔話の奥深さを改めて感じさせられた体験でした。最後に読者の皆様に動画を公開します。貴方はどのような情景が浮かびましたか？



十五夜の団子が聞けます



鈴木代表HP

◇代表：鈴木暹さん(問合せ・090-9027-4324)

【情報提供・柴田三智子】



レポート：峰野 勇 編集委員

## コミュニティしずおかの立役者!情報通信員を紹介しま〜す(後編)

この冊子は、県内各地で委嘱のお願いをした情報通信員に地域活動の情報を提供していただいております、本年度は25市町31人の皆さんに活躍していただきます。



藤枝市岡部

梅原 仁さん

藤枝市岡部地区のコミュニティ情報採集に行ってきまーす!!



島田市川根

村松遼太郎さん

川根に移住してはや8年。地元マニアックな情報を発信していきます!



島田市伊太

池田 弘さん

オーディオ・ギター演奏同好会・歌壇投稿等、未だ見込み無い趣味や家庭菜園で楽しんでいます。



吉田町

市川頼子さん

子ども達の笑顔が地域の活動の支えです。町内の皆さんの活動を発信したいです。



牧之原市

武田てるみさん

勝間田絆づくり事業で地域を元気にしたい!牧之原市の情報をたくさん伝えていきます。



掛川市

加藤和男さん

湿度が高い空気に変わって天体観測が思うようにできません!



掛川市大東大須賀

安藤ミエさん

人との交流をたくさん持って情報を集めます。



袋井市

新海智美さん

只今復活中!まわりのすべてに、元気をありがとう!よろしくね♪!



磐田市

安部詠司さん

地域で頑張っている人達が、どのような「工夫」をし継続的に活動しているのかを紹介したい。



御前崎市

大竹三代治さん

御前崎市内の素晴らしい活動団体の紹介頑張ります!



菊川市

鈴木貴司さん

地域コーディネーターとして、高校生等の若者と地域をつなげる活動をしています。



森町

山田勝恵さん

取材、楽しんでいきます。



浜松市中区

池田待子さん

子ども達の健やかな成長を応援しています。



浜松市北区

NPO法人わたぼうしグランドデザイン

「私たちのまちから世界を変える」大学生が地域活動に取り組んでいます。



湖西市

菅沼泰久さん

湖西市特産パンパスグラス!今年も上出来です!

## 令和5年度のコミュニティ育成事業は、11団体を指定しました。

令和5年度の「コミュニティ活動集団」は、次の11集団を指定しました。それぞれの地域でコミュニティの活動をさらなる飛躍を期待します。9月から12月にかけて訪問指導を行います。

■三島市 富士ビレッジ自治会子供会部

■藤枝市 朝比奈粽保存会

■函南町 函南間宮天池を守る会

■島田市 川根の桜を守る会

■裾野市 丘の上マーケットin千福が丘

■菊川市 CHA柱レクリエーション

■裾野市 コミュニティカフェ遊友会

■掛川市 田ヶ池公園保全会

■静岡市葵区 瀬名郷倉保存会

■浜松市中区 シニアえんがわ食堂

■静岡市清水区 神輿同好会 清水港會



### 常務のつ・ぶ・や・き

4年前、2019年9月28日、私はエコパスタジアムで熱狂の中にいた。日本で初開催のラグビーワールドカップで、ジャパンが当時世界ランク2位のアイルランドに歴史的勝利を挙げた夜だ。世界は「シズオカショック」と大きく報じ、日本中がにわかラグビーファンで盛り上がり、波に乗るジャパンは4戦全勝でグループ戦を突破したが、準々決勝でこの大会の優勝チーム南アフリカと対戦し、残念ながらベスト8で力尽きた。

その後、新型コロナのパンデミックを経て、今年も9月8日からフランス大会が始まった。日本代表の初戦には、想像以上に多くの日本人ファンがスタンドから熱い声援を送り、チームは初出場のチリに圧勝した。今回のスローガンは「Our Team」。我等がジャパンの粘り強いプレイが、現地の観客も巻き込んで「ニッポン」コールを湧き起こすことを期待している。2015年のイングランド大会で、ラグビーブームの火付け役となった五郎丸歩選手の活躍で、あの南アフリカを破る「ブライトンの奇跡」を起こした時のように。

# コミねっ一家

のりづき・りえ



## 地域活動に関心のある方へ! 募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協会へ

### ★コミュニティ活動賞募集中!!

コミュニティづくりを通じて潤いと活力ある地域づくりに努力している地域の皆さんの活動を募集します。

応募の対象と条件についてはホームページをご覧ください。

- 優秀賞……賞状と副賞 3万円
- 優良賞……賞状と副賞 1万円
- 奨励賞……賞状



発表：令和5年12月初旬

### ★デジタルサポーター育成講習会(基本・応用講座)

#### SNSを安全便利に使いこなし

#### コミュニティ活動の魅力を発信してみませんか?

静岡県デジタル戦略局が進める支援事業を活用して、2か年に渡りデジタル技術の習得を支援します。詳細はホームページをご覧ください。

**注意事項** 初心者向けのスマホ講座ではありません。

**対象** 地域の活動団体に所属している方(1集団 最大3人まで)

**募集人数** 各会場20人(先着順) **参加料** 無料

	日時	会場
東部会場	令和5年12月20日(水) 13時30分~16時	沼津商工会議所会館 2階会議室B
中部会場	令和6年1月17日(水) 13時30分~16時	静岡県総合社会福祉会館 101会議室
西部会場	令和6年1月31日(水) 13時30分~16時	袋井南コミュニティセンター 1階ホール



### ★コミカレアフター研修会in掛川 &コミねっ西部支部研修会開催!

#### 地域の歴史を知り、地域活動をいかに行うか



**日時** 11月3日(祝・金) 10時~14時30分

**会場** 大日本報徳社(掛川市)

申込二次元コード

**対象** コミカレ修了者、コミカレ受講生、関係者

**参加費** 無料

10:00	開会
10:20	活動発表1 掛川城戦国おもてなし隊「なぜ、忍者なのか?」
10:50	活動発表2 大日本報徳社と周辺の観光案内
13:00	講演「私の足あと 江戸期の女性史」柴 桂子氏
14:30	解散

### コミねっ支部研修会

#### ●中部支部

10月28日(土)  
10時~15時  
会場:島田市金谷公民館みんくる

#### ●東部支部

11月23日(祝・木)  
会場:静岡県地震防災センター他  
視察研修

